



議会だより



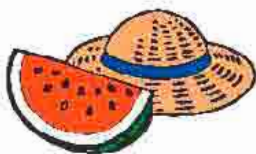
～夏にむかってがんばる子どもたち～



南小の一層の発展を祈って



聖コゼツ幼稚園のプールにて



6月定例会

第26号

平成19年(2007年)
8月1日

篠平新議長・根橋新副議長あいさつ P.2

総務産業建設常任委員会活動から P.3-4

社会福祉教育常任委員会活動から P.4-5

病院研修視察の報告 P.5-6

病院医療研究委員会の発足にあたって P.6

編集後記 P.6

委員会
活動から

総務産業建設常任委員会

- 委員長あいさつ
- 条例審査・陳情審査
- 現場視察

国の法律を受け町が条例によって国際協力等の目的で、外国の地方公共団体の機関に派遣する一般職員の処遇を定めるものです。

派遣について、派遣で

辰野町外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員等の処遇等に関する条例の制定について

条例審査

当委員会は、商工業を始めとして、農林業、上下水道など活動が広範囲に及んでいます。町内各種団体の皆様の始め、町民の声を積極的に取り上げ、行政に反映できる委員会として活発な運営をめざしたいと思います。

活力ある委員会活動をめざして

委員長 矢ヶ崎紀男

当委員会は、商工業を始めとして、農林業、上下水道など活動が広範囲に及んでいます。町内各種団体の皆様の始め、町民の声を積極的に取り上げ、行政に反映できる委員会として活発な運営をめざしたいと思います。

この法律を受け町が条例によって国際協力等の目的で、外国の地方公共団体の機関に派遣する一般職員の処遇を定めるものです。

派遣について、派遣で

新議長・新副議長あいさつ

- ◎ 活力に満ちた魅力あるまちづくり
- ◎ 政策立案機能の向上を！

「対話と決断」新議会に誓う

辰野町議会議長 篠平良平

青草を蒸すような強い日差しの手前、町民の皆様には、まずまずご健勝のこととお慶び申し上げます。去る5月8日の初議会において新しく議会構成が行われ、議員各位の推薦により議長と副議長に就任することになりました。町民の負託を受け、町政の向上に立つ14名の議員は、責務と役割の重大さを自覚して議会の健全と発展を認識しつつ、清新活発な議会活動に取り組む決意であります。

さて現在の辰野町の重要課題は、農業の振興、商工業の景気回復、教育環境や少子高齢化への対応、財政問題など山積しております。取り分け現在協議がすすめられております辰野病院の移転新築問題は、緊急の課題であり一層慎重な対応が必要であります。

西も含め、辰野病院及び両小野国保病院の運営や将来に向けた地域医療体制の在り方を提言すべく、研鑽してゆく所存です。

その為、独自の「病院医療研究委員会」を立ち上げ、必要な調査及び研究を行い検証して参ります。今後、町民の声をしっかりと受け止めながら具体的な議論を深めて行きます。

「活力に満ちた魅力あるまちづくり」の理想を実現するためには、住民自治の担い手である町民の不断の努力と情熱に拠るところが大であると考えています。どうか、これからの町政並びに町議会により一層の関心を持って頂き、積極的にご意見などお寄せください。結びにあたり町民諸兄のご健勝とご活躍を祈念して就任の挨拶と致します。

議会の新たな取り組みに全力を

辰野町議会議副議長 根橋俊夫

議員全員のみなさんのご支援により、副議長に就任いたしました。もとより微力ではありますが、議長の支え役に徹して、議会活動の発展のために努力したいと決意しています。

今日の地方自治を巡る政治の流れは、国や県に集中していた権限を市町村に移す方向に加速してまいります。しかしながら、財源の保障は極めて不十分であり、移された権限も限られたものにとどまっております。本格的な地



方分権時代はこれからのことだと思います。

このような過渡期であるだけに、議会の果たすべき役割は従来と比べ倍以上も大きくなっております。新しい取り組みが求められています。すなわち、基本的な役割であるチェック機能の向上に加えて、議会全体としての政策立案機能の向上、多様化している住民の意思を正確にとらえ、合意形成を議会が中心となつてすすめていく取り組みなどです。

また、医師確保対策など、上伊那広域連合を中心とした、広域行政への新たな取り組みも課題です。

私は、これらの課題に議会全体として十分取り組めるように、副議長の立場から全力を尽くす覚悟です。

たつのパークホテルの設置及び管理に関する条例の制定について

たつのパークホテルは、11月に年賦金納入が完了するため、(池)信州長野県観光協会から町有財産となり、このため、設置及び管理に関する条例を制定し、指定管理者に管理を行わせるものであります。

委員会での審査では、早期に条例制定すべきとの意見が多く出され、採決の結果全員一致で可決しました。



辰野病院の視察

委員会活動から

去る6月19日に、老朽化に伴う辰野病院の建物・設備および職員の接遇状況を視察しました。

屋上からの漏水・外壁及び割れ・雨漏り・トイレ・検査室の異臭に伴う換気などの確認もしました。

陳情審査

日豪WTO交渉及びWTO農業交渉に関する陳情

【提出者】
上伊那農業協同組合
代表理事 宮下 勝義
上伊那農政対策委員会
会長 宮下 勝義

時宜を得た陳情であるとの意見により、全員一致で採択と決し、意見書を提出しました。

意見書

昨年7月から中断していたWTO農業交渉が再開され、一方では、豪州とのEPA（経済連携協定）の交渉が開始されるなど、わが国農業の存亡に係わる重要局面を迎えようとしています。WTO農業交渉は、年内妥結を目指すため、関税や補助金削減レベルの主要論点について、主要閣僚会議での議論を踏まえ、7月までに合意できるかが鍵となっております。このような中、わが国政府は、「多様な農業の共存」という従来からの主張を堅持し、G10提案の実現に向けて断固たる交渉姿勢を貫き通すべきであります。また、豪州とのEPA交渉においては、関税協定による深刻な影響試算が公表されており、こうした事態は、国民生活の上で極めて懸念すべきことであり、わが国農業の重要な生産物の「除外」または「削減率」が絶対に確保されなければなりません。よって本県野田連合は、わが国政府に対し、一歩も引かない姿勢で日豪EPA交渉に臨むよう強く要望します。

社会福祉教育常任委員会

- 委員長あいさつ
現場視察
請願審査

問題意識と提案

委員長 山岸忠幸

委員会の名前から想像できるように、現在の野田町の様々な重要かつ緊急の案件を担当している委員会です。議員構成は3期の議員が1名、2期2名、1期4名となっております。半数以上が1期の議員となっております。そのうちの中で、今の町の現状を早く理解してもらおうことが重要と考え、当面は町内の関係施設の視察、現場視察、また担当者との懇談会などを進めて行きます。

町内医療施設を視察

6月19日に辰野病院新築移転等の課題に対応するための勉強会として、次の町内4医療施設の視察研修をいたしました。

- 両小野国保病院
● 川島診療所
● 第一診療所

両施設共に医師や関係者の献身的な努力に支えられ、地域に根ざした医療体制が進んでおり、長



辰野病院の老朽箇所を調査

期的には医師確保の課題はあるものの経営的には黒字となっております。●辰野病院
施設の老朽化等の実態を中心に視察しました。想像以上に老朽化が進んでいることがわかりました。医師不足による患者減それに伴う減収の中にあつて、透析部門は好評であり、今後は拡大策も考えられたい材料と思われれます。今回の研修は、今後の病院や医療問題を検討していく上で有意義でした。

請願審査

「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願

【提出者】
長野県上伊那郡辰野町
公立学校教職員組合
執行委員長 酒井 直彦
紹介議員 船木 善司

教育費の一般財源化により教育費に地域格差が生じること、さらに他事業に使われてしまう恐れのあること等論議され、国の責任として義務教育の機会均等を目標とした、義務教育費国庫負担制度を堅持することが必要であるとの請願に、委員全員の賛成で政府及び関係行政官庁宛に意見書を提出すべきであると採決に決しました。

意見書

1. 国の義務である教育水準の最低保障を担保

2. 国庫負担金から既に除外した教材費、旅費、共済費、退職手当、児童手当などを還元すること。

少人数学級の早期実現や複式学級の編制基準の改善、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願

【提出者】
長野県上伊那郡辰野町
公立学校教職員組合
執行委員長 酒井 直彦
紹介議員 船木 善司

平成20年度の国の予算編成に当たり、どの子にも行き届いた教育をするために少人数学級の早期実現と、複式学級の解消のため教職員の定数増も必要であるとし、委員全員本請願の趣旨に賛成し

意見書

1. 国の責任において早期に「少人数学級」を実現することを含め、次期定数改善計画を実施すること。また、自然減を上回る教職員定数の削減を行うことなく、学校現場に必要な教職員の人員、人材を確保すること。
2. 現行の複式学級の編制基準を改善し、複式学級を改善すること。

意見書を提出すべきとして採決に決しました。

長野県独自の30人規模学級の拡大及び市町村における自由度の拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願

【提出者】
長野県上伊那郡辰野町
公立学校教職員組合
執行委員長 酒井 直彦
紹介議員 船木 善司

どの地域のどの子にもゆきとどいた教育を保障する観点から、県の責任において「30人規模学級」を一層拡大する必要があると見ます。過疎化の進む地域において、現行基準のもとでは複式学級が増加せざるを得ない状況も生まれていきます。たとえ少人数の子どもたちであっても教育保障の観点から、複式学級は避けるべきです。その際、教員配置については、市町村の自由度を拡大することが強く望まれます。請願趣旨のとおり長野県知事宛に意見書を提出すべきであるとして、委員全員の賛成で採決に決しました。

意見書

1. 長野県独自による30人規模学級の小・中・高学年への早期拡大
2. 複式学級の解消
3. 県独自での教職員配置増

病院研修視察の報告

辰野町議会として、自治体病院である辰野病院が今直面している課題について研修するために、去る7月2・3日、新潟県魚沼市立堀之内病院と小布施町にある民営の特定医療法人新生病院を視察しました。

堀之内病院は一般病床34床、療養病床50床を擁して、急性期における一次医療と二次医療の一部を実施している外、訪問看護や訪問リハビリテーションを含む在宅医療など、地域医療にも熱心に取り組んでいる姿勢に共感を覚えました。

一方、新生病院は新たに改築して約1年経過した建物は周囲の景観と調和した静かなたたずまいが極めて印象的でした。16の診療科目と5つの専門外来があり、近隣の医



魚沼市立堀之内病院の研修視察

療機関や保健施設と各々の役割を分担しながら、福祉行政の連携を図り、充実した医療サービスを提供していただきました。一生懸命説明していただいた事務長に情熱と確かなリーダーシップを感じました。堀之内病院は公営、新生病院は民営、かたちこそ違え、両病院とも地域住民の信頼と地域にしっかりと根を下ろした真剣な姿勢に、大いに学ぶことがあった有意義な研修視察でした。

病院医療研究委員会の

発足にあたって

去る7月12日、「病院

医療研究委員会」が、議員全員の参加のもと発足することになりました。

委員長には前田親人議員、副委員長には山岸忠幸議員が選出されました。「病

院医療研究委員会」の趣旨は、地方自治体における財政の緊迫状況と地域医療が壊滅しつつある状況を鑑み、辰野町における財政の健全化と地域医療を守るための方策を模索するために、当委員会を設置し研究することであることを確認しました。

申し合わせ事項

1. 委員会は議員の自由な討議を保証するために非公開とする。ただし、委員会での検討内容や資料などは全委員の承諾のうえ積極的に情報公開する。
2. 委員会での検討内容は、議員個々の政治信念

を何ら拘束するものではない。ただし、委員全員一致で賛同を得た場合は、議会として町に対して提言や意見を行うこともできる。

目的

1. 町民の代表である議員としての説明責任を果たすための調査研究
2. 町民の病院・医療に関する不安を解消するための情報公開

内容

1. 一般会計・特別会計・公社会計の連結決算による町財政の現状把握
2. 国・県の医療政策方針の把握
3. 辰野病院、両小野国保病院、第一診療所、川島診療所の経営状況の把握と将来展望
4. 辰野町における地域医療の現状把握
5. 辰野病院新築移転に

関しての調査研究
6. 病院・医療に関しての町民意識の調査研究
以上の要項を確認しました。

当面の検討課題

1. 町の財政運営見直しについて（緊急財政健全化計画の進捗状況、地方財政健全化法の新たな指標の内容と町の数値見直しについて、病院建設にもなう起債償還計画について）
2. 病院の運営収支見直しについて（90床の運営収支見直しについて、損益計算書と貸借対照表の現状と見直しについて）
3. 国、県の今後の医療制度改革の内容について（国の計画、県の計画）
4. 町の福祉、医療の総合計画について（現状の計画の内容について、病院の変化に対応した計画について、今後の福祉のあり方）

編集後記

議会広報委員会は、委員長をはじめとして、6人すべて新人議員の構成となりました。慣れない編集作業に紆余曲折、悪戦苦闘の連続でしたが、大変勉強になりました。ともすれば距離を感じてしまう町民の皆様との交流、情報発信や意見交換の場として『議会だより』が、その役割を果たすことができた幸いです。

議員定数削減の余波を受け、14名の議員ひとり一人の守備範囲が広くなりましたが、できるだけ能率的な編集活動を心掛けようと話合っています。町民の皆様率直なご意見をお寄せください。

議会広報委員会

- 委員長 岩田 清
- 副委員長 永原 良子
- 委員 中村 守夫
- 宮下 敏夫
- 船木 善司
- 中谷 道文